

## 木工教室での体験

## 教育部会 部会長 吉永馨

昨年は何もわからず「はい、どうぞ」と、お膳立てをしての色々なイベントになっていました。今年は教育部会のあり方や何をすべきかを夜遅くまで話し合いました。小学生夏休みの木工教室、そうめん流しでは、2日間にわたり行うことになりました。1日目は、安全な道具の使い方や他の人に迷惑をかけないように自分自身もけが等しないように、KYT講座をしました。私たちも勉強になりました。午後からは、裏山から子供たちで竹を切り出し、器づくりに頑張りました。2日目は、そうめんの流し台を作り、ようやく食べられるようになり、竹のマイカップでお腹いっぱいになるまで食べていました。お家で食べる味と少し違った何かを感じたのではないかと思います。皆様に御協力していただき本当にありがとうございました。※KYT:危険予知トレーニング



## 町の防犯に努めて

## 防犯器材部会 部会長 角泰司

皆様におかれましては、日頃より橋町まちづくり推進協議会及び橋町防犯協会に何かとご協力頂きありがとうございます。

部会の構成メンバーは、自治公会、女性代表、老人クラブ、町子連、民児協、農業関係、区長会となっています。

内容は、防犯器材に関する事項（防犯灯・防犯資材）についてで、毎年各区より6月に防犯灯の設置要望を募り、8月に検討・決定致しました。新設・改修を予算内で13件を設置することができました。

このほか、通学路に是非との依頼があり、設置することになりました。



## 町内の安全確保

## 防犯事業部会 部会長 森山義秀

橋町防犯協会のひとつの部会として、青色回転灯パトロール事業を中心に事業推進に当たっています。青色回転灯パトロール事業は、特に、橋小学校の児童の下校時の安全を守るために実施しています。橋公民館、橋小学校の公用車に青色回転灯を設置して、地域では区長、自治公民館長さんを中心に、また、小学校では保護者の皆さんのがパトロール活動を行っています。また、パトロール活動に参加するためには、「パトロール実施者証」が必要ですので、毎年、多数の町民の皆さんの参加を得て、青色回転灯パトロール講習会を実施しています。

これからも、町民の皆さんの協力をいただきながら町内の安全確保に努めてまいります。



**編集後記** 広報広聴部 部会長 鳥越安男 今年度もご協力ありがとうございました。来年度もよろしくお願いします。

広報広聴部会では地域情報の発信及び町民の意見集約に関する課題に取り組みました。広報活動として、まちづくり広報誌『橋だより』創刊号を10月に各戸配布することができました。また、第2号の発刊には9部会の活動報告を寄稿して頂きました。広聴活動としては1月に『橋町まちづくり町民アンケート』調査を実施し、回収率は59%でした。沢山のご意見、ご要望を頂きました。今後の橋町のまちづくりに活用して頂けるものと確信しています。ご協力有難う御座いました。



# 橋だより

vol. 02  
2017.04

編集発行: 橋町まちづくり推進協議会 広報広聴部会  
表紙字体: 馬場茂館長



## 安全安心の町を目指して

## 安全安心部会 部会長 古川正明

橋町まちづくり推進協議会では、町民の安全安心を確保するため安全安心部会を組織し、これまで3年間議論をしてきました。橋町内では大雨による浸水被害はあるものの人命に係るような大きな災害は幸いにも起こっておりません。災害は忘れた頃にやってくるとよく言われますが、我が橋町においても六角川沿いの低地や土砂災害危険地域が多数あり、想定外の気象条件等が重なれば、何時起こっても不思議ではないのが現状ではないでしょうか。まず部会では、自分たちの集落がどのような現状にあるのかを正確に把握するため関係機関の助言等を受けながら地域内を細かく点検しその結果をマップにまとめ、それを集落の皆さん全員が共有するため防災計画づくりを進めてきました。

本年度の部会の活動は、各集落で作成した防災計画を地域の方に周知徹底を図り、さらに深めるため武雄市が3月に計画した総合防災訓練に参加し、防災マップに示した内容を集落全員で確認し議論いたしました。今後は、各地域で防災計画に基づく訓練を反復して実施し、減災・防災に努めていただき、橋町が安全で住みよい町になることを願っております。



## 周防大島交流団派遣事業を通じて

## 青少年育成部会 部会長 平尾義谷

青少年育成においては学校、保護者、地域の三位一体の教育が重要であるとの考え方から、平成24年度からは町の単独事業として橋小学校の児童を、周防大島町の旧橋町へ派遣しています。現地小学生との交流や地域の人々との交流を通じ、また様々な体験活動をとおし、精神的な向上と広い視野の育成を図っています。

お互いのまちづくりについての意見交換をし、これからまちづくりに役立てる信じ、今後もこの事業を続けていく事が重要であると考えております。



## 人と人のつながり・交流を大切に

## 地域コミュニティ部会 部会長 峰松良和

今年も地域コミュニティ部会の交流事業に多数の町民参加、協力をいただき有難うございました。毎年天候不順で役員さん泣かせだったふれあいの集いも晴天に恵まれ、各団体の踊りや劇・区民代表のカラオケ・抽選会等盛り上がり、祭りを終えることができました。また、餅まきの方法やプログラムのマンネリ化等の意見も多々ありますので今後の部会に反映させ、この祭りを長く継続するのが大事ではないでしょうか。

新年のご来光・初詣の集いも近年ない天候に恵まれ、早朝より多くの町民の方に参加頂きました。初日が顔を見せる、歓声を上げる人、万歳をする人等が見え、今年最初の贈り物ではなかったでしょうか。すがすがしい気持ちで家路につかれたんじないでしょうか。今後も地域コミュニティ部会にご理解とご協力をお願い申し上げます。



## 町内の歴史・文化に関する研究、保存、活用

## 歴史・文化部会 部会長 光武俊文

今年度は橋町歴史研究会会員の方々の意見を参考に、橋町史跡ウォーキングマップを作成しました。このマップは、北部東コース、北部西コース、南部東コース、南部西コース4つのコースに分かれています、各家庭にも毎月の配付物と一緒に配付しています。第1回の史跡ウォーキングを12月4日(日)に小雨の降る中、北部東コースで開催しました。参加人員は45名で市役所のマイクロバスで鳴瀬のバス停まで行き、角味噌醤油屋さんで甘酒の接待を受けたりしながら、橋公民館までのウォーキングを開始しました。途中の史跡での説明は歴史研究会の会員の方に説明をしてもらい約2時間30分のウォーキングを終了しました。

また、堤防周囲のウォーキング後の雨よけや、夏の暑い時の日よけ等で利用してもらえたということで、潮見の河童の群像の空き地に休憩所を設置しました。地域の皆様方で、御活用願えたらと思っております。



## 町の生活環境を良くしよう

## 生活環境部会 部会長 淵政雄

昨年第25回「ふれあいの集い」では受付の方で今回も婦人会役員さんの手でマイエンザの配布がありました。「橋町愛菊会」の皆さんも菊と一緒に配って頂きました。殆どの皆さんがあいの喜んで受け取っていました。その際、当部会では同時にアンケート調査を実施しました。内容は環境についての考え方やマイエンザについての12の質問を用意しました。マイエンザに関しては認知度が高く、皆さん上手く使って頂いているようでした。一部「使い方がわからない」「効果が判らなかった」などございましたが、多くの皆さんから「野菜に良かった」「トイレに良かった」「お風呂に洗濯に良かった」などなど喜びの声と体験談なども書いて頂きました。町民の皆さんには多数アンケートにご協力いただきまして本当にありがとうございました。

当部会ではこの調査を踏まえ更なる知識を高め、より良い情報提供をして参りたいと考えております。皆様からの生活や環境に役立つ情報もお待ちしております。なお、アンケート調査結果や体験談などは生活環境部会報「マイエンザだよ」でご報告したいと思っています。生活環境部会は環境にやさしい循環型の生活を目指しています。



## 町の産業発展を応援

## 産業振興部会 部会長 中村和仁

出来秋を迎えて、シンガポール富裕層のオーナー制モニターツアーでの稻刈り、たちはな幼稚園児全員のコンバイン乗車による農業体験、共に橋農業への興味と理解を深めていただいた。橋町ふれあい祭り・武雄市物産祭りでは町産品の試食直販を行い、多くの町・市民の方がテント前に列をなし、大盛況であった。

今年1月からは「橋産さがびより」が、JR九州「ななつ星」西九州ルートの昼食に提供されることになり、初日には市長・部会・JAと、武雄中吹奏楽部の演奏、たちはな幼稚園児の小旗歓迎セレモニーを盛大に実施した。銀座三越の佐賀県産品フェアへ部会・生産者一体となり「橋産さがびより」のPR直販に参加し、ブランド米の確立に努めた。

多くの催事設営で理事、試食提供の準備に女性有志のご協力をいただき、感謝申し上げます。

